

12月
定例会

のざき正志・定例会一般質問より

質問

地方創生の取り組みについて。キーワードは人である。地域おこし協力隊を若者定住促進の有効策として、取り組みを進めてはどうか。

答弁

来年度から、下田地域で地域おこし協力隊を募集する。基本的には移住、定住を目的としたものであり、関係する地域とも協力を頂いて進めて行きたい。

質問

若者支援のキャリアアップ助成金の活用によって雇用対策を強化するなど、環境整備を推進すべきではないか。

答弁

若者が地元に住み続ける、地元企業へ定着を図ることは重要と考えている。キャリアアップ助成金の制度は大変有効であり、制度の周知に取り組んで行きたいと考える。雇用、就労対策として若者者雇用拡大奨励金制度を創設している。

質問

代読、代筆支援の充実について、視覚障害や視力が低下した人のなどの読み書きに支障がある今後必要性も高まるが本市の状況やニーズはどうか。

答弁

障害者総合支援法で12人が利用している。活字読み上げ装置の利用、音声訳、音声パソコンの支援団体もあり、連携を図りながら検討して行きたい。

質問

がん検診について、受診率の向上をどう取り組みをするのか。胃がん撲滅のためリスク検査を導入してはどうか。

答弁

国の補助金を利用した検診の無料クーポン券を配布している。半日ミニドックや土日検診も実施している。目標達成に向けデータを分析し、効果的な周知に努めたい。厚労省はリスク検査は、検討していく立場であり、その動向を注視してまいりたいと考える。

公明党は地方議会から始まった。小さな声を聴くことから始まった。

災害に強い新潟をつくる。地震・水害・豪雪など相次ぐ自然災害を踏まえ、現場の声を政策化。橋の長寿命化計画が改定され、凍結防止剤や海風から橋を守る対策も盛り込まれました。●ひきこもり支援センター（相談を受けられる窓口を開設。）●ネット利用に関する教育（学校でネット利用の危険性を啓発。）



新潟駅万代口での街頭演説



富山市の公共交通（行政視察）



のざき正志のホームページ

「現場からの声、皆様からの声をカタチに変えて行きます。」皆様よりの声にしっかり対応してまいります。気軽にご相談を下さい。三條市議会議員 のざき正志 090-7249-9008
ホームページはこちら <http://www.komei.or.jp/km/sanjo-nozaki-masashi/>